

現場改善による 生産性向上

中小製造業の競争力向上を支援



製造業部会 部会長
榊原公一氏
(株式会社 小糸製作所)
代表取締役副社長

静岡商工会議所製造業部会は、機械・電気、工業、食品、木材合板、エネルギー、木漆の6つの分科会を設けて、ものづくり産業の振興、地域活性化支援に取り組んでいます。

静岡県の製造品出荷額は、16兆1,322億円(平成29年度)で愛知・神奈川に次いで全国3位となっております。事業所数は全国5位、従業者数では愛知・大阪に次いで全国3位と、ものづくりに関し本県は高い水準にあります。

静岡市統計書(平成29年度版)によると、本市の製造品出荷額は、多い業種別に、①電気機械器具6,614億円、②食料品2,221億円、③非鉄金属1,182億円の順で、続いて、④化学工業878億円、⑤生産用機械器具876億円、⑥金属製品872億円となっております。

このように静岡県・静岡市をリードする製造業は、高度な技術・ものづくりが求められており、当製造業部会の主要事業の一つとして現場改善支援事業(委員長・上妻親司氏)の推進を図っております。

わたくしも委員を仰せつかっております当支援事業は、企業が抱える課題解決から作業の標準化、5S・安全管理・IoTなどによる現場の改善、製品技術の高付加価値化や生産性の向上を図るため、企業の優秀な技術者OBを中心とした専門アドバイザーを派遣し、静岡地域に集積する中小製造業者等の競争力向上の強化を目的に実施しております。

平成22年度よりスタートした本事業も、この8年間で89件を数え、本年度も16件の支援事業が実施されております。

今回の製造業部会の特集は、「現場改善支援事業」で、専門アドバイザーによる支援を受け、特に生産性の向上に取り組まれた企業をご紹介します。